

ベンカらごうし



第11号

編集・発行
社会福祉法人 京都市中京区社会福祉協議会

〒604-8316 京都市中京区大宮通御池下る三坊大宮町121-2 TEL.075-822-1011 FAX.075-822-1829
インターネットホームページ <http://www.mediawars.ne.jp/fukusi06>

1999年10月発行



平成11年度中京区青少年の福祉体験事業ユースアクション'99 本会高齢者ミニディサービス事業での一コマ「スイカってどうやって切るのかな?」「あぶない、あぶない」

ごあいさつ



京都市中京区社会福祉協議会

会長 川口 東嶺

このたび、山段芳春会長がご逝去され、はからずも職務代理者となっておりました私が、このたび会長として任期を引き継ぐこととなりました。法人初代の山本はる会長と山段芳春会長は、法人創設期において社協組織の強化、財政基盤の強化、拠点づくりの3つの目標を掲げられ、ともに目標を成し遂げられましたことは大きな功績であります。中京区民の皆さまのお声に基づいた地域福祉活動を展開し、多くの支持を獲得していくというお二人のご遺志をひきつぎ、会長の名に恥じぬよう職務を遂行していく決意であります。

ご存知のとおり、社会福祉の情勢はめまぐるしく変化しております。来年四月から介護保険制度の開始は五十年に一度の社会福祉の大改革で、介護サービスの利用にあたって従来の行政の「措置」から「自由選択の契約」へとこれまで経験したことのない介護環境の大転換がはかられます。

それに伴ってサービス内容と質を適切に確保し、高齢者の権利を守っていくことが大きな課題であります。そして介護保険の枠組みに限らず、障害のある方や子どもたちも含めあらゆる人たちがいきいきと地域で生活していくための権利を守り支援を行う社会福祉協議会の役割はますます高まっております。

おりしも「すべての世代のための社会」をめざした「国際高齢者年」の本年は、中京区社協が法人化して五周年を迎えるという節目の年であります。中京区社協が従来から追求してきた住民主体の地域福祉活動の推進に、より一層力をそそぐべき重要な段階に入っております。皆さま方と手を携えて、区民の皆さまにたよりにされる社協として発展していくよう、全力を尽くしていく所存でございますので、どうぞ皆さまのご協力をお願い申し上げます。

平成6年度

○中京区社会福祉協議会法人格取得

平成6年4月1日知事認可を得て社会福祉法人として誕生いたしました。

住民や企業のみなさまの浄財によって、財源を確保し、専任職員を設置し独立した事務所をかまえました。



○各学区社会福祉協議会での町委員制度の設置

各学区で町委員さんを設置していただき、各学区社協の活動の基盤を強めていただくことにしました。

○賛助会員制度の創設

区民のみなさんに中京区社協の活動に賛同していただき、ご支援をいただく賛助会員制度を創設いたしました。



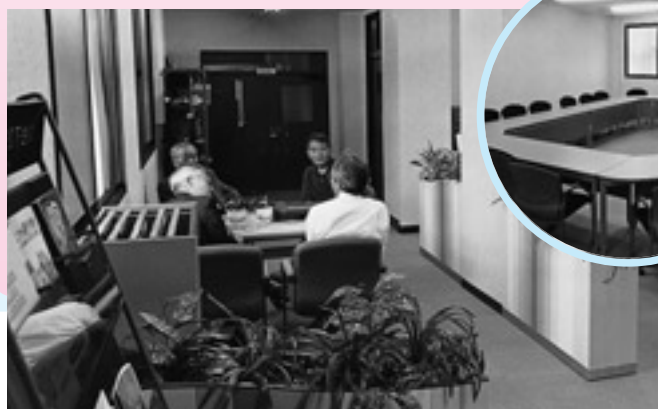
さまで いました。

.....
が産声をあげてから、
りかえてみます。

平成7年度

○「中京区地域福祉センター」を開設

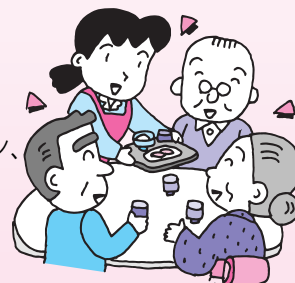
中京区民の皆さんと地域福祉について話しあい、行動していく拠点として元教業小学校跡地に「中京区地域福祉センター」を開設しました。そして、区社協の事務所もここに引っ越しました。



○「ふれあいいきいきサロン」事業の開始

中京区は、ひとり暮らしの方や高齢者夫婦世帯が多いまちです。高齢の方の仲間づくりの場としてレクリエーションや創作活動などを行い、在宅生活をより豊かにするために「サロン」活動を行っています。

- 日 時：毎月11日 午後1時30分～3時30分
- 場 所：中京区地域福祉センター 2階
- 対 象：中京区にお住まいの65歳以上の方でご自分で来所できる方
- 参加費：無料
- 内 容：健康チェック、歌、レクリエーション、創作活動



○「ふれあいいきいきサロン」協力ボランティアグループ「いきいき会」結成

「ふれあいいきいきサロン」活動はボランティアグループ「いきいき会」によって運営されています。サロン活動で行うレクリエーションや創作活動を企画したり、当日の運営を行っています。一緒に活動していただけるボランティアさんをいつでも募集しています。

平成8年度



○ボランティアセンター開設

ボランティア活動に関心のある方、現在ボランティア活動において悩みをかかえている方、ボランティアの支援が必要な方などボランティア活動についてあらゆる面でサポートしていくため、「ボランティアセンター」を設置しています。

1.情報の発信

ボランティア活動への参加、理解を求めるためにボランティア情報誌やインターネットホームページを開設しています。

2.相談・登録・あっせん

「ボランティアをやってみたい」「ボランティアに手伝いにきてほしい」など施設・グループ・個人からの相談を受けてあっせんをしたり、必要な情報を提供しています。

3.学習・講座

ボランティア活動に関心のある方を対象に入門講座を開催しています。また、学生や社会人を対象とした福祉体験事業も行っています。

4.支援

会議室の利用や視聴覚器材の貸し出しを行っています。また、安心してボランティア活動を行っていただくためにボランティア保険の加入受付も行っています。

◆主な貸し出し器材

液晶プロジェクター、ビデオデッキ、スクリーン、ワイヤレススピーカー、その他、福祉活動者やボランティアさんに対して、印刷機、コピー機を無料でお使いいただけます。(ただし紙代はご負担いただきます)



○中京区高齢者ミニデイサービス事業開始

体にご不自由であったり痴呆症状のある方々を車でお迎えにあがり、中京区地域福祉センターでレクリエーションや創作活動で一日楽しく過ごしていただきます。

- 日 時：毎週／月・水・金
午前10時30分～午後3時
- 場 所：中京区地域福祉センター 2階
- 対 象：中京区内にお住まいでお体が少し不自由なあるいは痴呆症状が少しある65歳以上の方
- 利用料：おひとり一日1,000円
- 内 容：健康チェック、歌、レクリエーション、昼食、創作活動、交流など



おかげ 5歳にな

中京区社会福祉協議会
行った主な活動を振

○中京区ミニデイサービス協力ボランティアグループ「花みづきの会」結成



「ミニデイサービス」事業はボランティアグループ「花みづきの会」の全面的な協力によって運営しています。健康チェックやレクリエーションなどのお手伝いや昼食のお汁物をつ

くっていただくなど当日の運営を支えていただいています。また、利用者さんの送迎のための車の運転もしていただいています。一緒に活動していただけるボランティアさんをいつでも募集しています。

平成9年度

○手話ボランティア入門講座開催

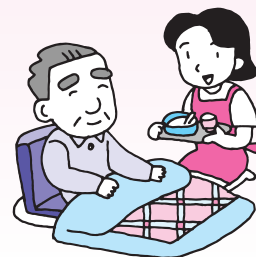
この年から毎年、ボランティア入門講座として「京都市聴覚障害者協会中京支部」・「京都市手話学習会みみずく中京支部」のご協力のもと、手話の入門講座を開催しています。この講座受講をきっかけに、本格的に手話の学習を始めたり地元で手話の学習会を継続的に開催されたりとボランティアの輪が広がっています。



○「青少年の福祉体験事業」の開始

中学生や高校生の皆さんが夏休み期間等を利用して社会福祉施設で高齢者や障害児・者、幼児の方々とふれあっていただく活動です。

11年度の活動の様子を6・7ページに掲載しています



平成10年度

○中京区介護家族の会への支援

在宅で高齢者や障害のある方を介護されている家族がともに苦労を分かちあい、学びあい、交流していくために介護家族の会が結成されました。会では、研修を行ったり会報を発行して介護に関する情報を提供したり、過酷な介護生活からの精神的・肉体的なリフレッシュをはかるため「リフレッシュ旅行」を企画するなど、同じ立場のご家族同士でともに助けあいながら仲間の輪が広がっています。中京区社協は会活動を全面的に支援し、地域ぐるみで支えあう介護環境の整備に努めています。

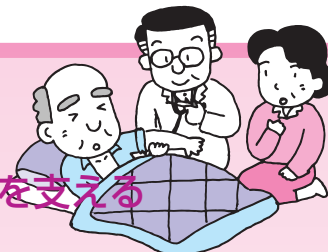
会 員 数：125名（平成11年9月現在）

入会要件：中京区にお住まいで介護を要する方を在宅で介護している方あるいは、在宅で介護なさった経験のある方



○高齢者や介護者を支える各種の取り組み

- ・全市に先駆けて区民を対象に介護保険を学習するシンポジウムを開催しました。
- ・高齢者や介護者を支えていくため、保健福祉にかかわる関係者で定期的に協議の場をもっています。



中京区社会福祉協議会の

さらなる発展を祈念して



中京区長 岡部 弘

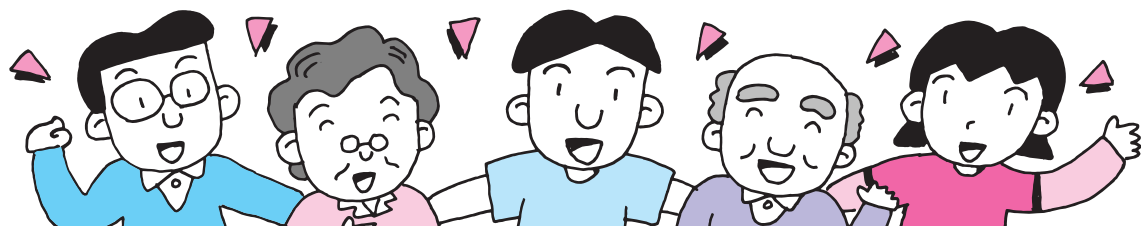
中京区社会福祉協議会におかれましては、川口東嶺会長のもと、高い使命感を礎に区民の期待に応え地域福祉推進の中核として先導的な活動を展開されています。また、京都市政・中京区政に対し多大なご支援ご協力をいただいております、ここに深く感謝いたしますとともに、区社協社会福祉法人化五周年をお祝い申し上げます。

京都市では、榊本頼兼市長を先頭に皆様方とのパートナーシップにより、いつまでも住み続けたいまち、元気な京都を目指し様々な施策を実現してまいりました。さらに二十一世紀のまちづくりの基本方針となる「グランドビジョン」の策定に取り組んでいます。

中京区内におきましては、子育て支援総合センターなどもみらい館や芸術センターの新設、御池通シンボルロードや二条駅周辺の整備などを皆様方のご協力を得て実施しています。

少子高齢化、核家族化が進んでいます。中京では減少していた人口がここ2年間増加に転じ、元気なまちづくりのため喜ばしいことですが、世帯分離が著しく特に高齢の単身世帯の増加が目立ち、地域福祉や地域づくりにとりこぼし課題です。介護を社会全体で支える介護保険制度の発足を控え、区役所といたしまして心豊かな福祉社会の創造を目指し区社協との連携を密にし取り組んでいます。

中京区社協が益々充実発展されますことを祈り挨拶とします。



都心部小学校跡地に

特別養護老人ホームを

二十三学区の社会福祉協議会を始め各福祉関係団体の総力を挙げて取り組んできました社会福祉法人設立から丸五年が経過いたしました。その間、中京区社会福祉協議会は多額の費用をかけ元教養小学校跡地を改装整備し、自前の地域福祉センターとして事業活用し、在宅福祉サービスの開発・実施、中京区ボランティアセンターの開設並びに基盤である学区社会福祉協議会の町委員制度の導入、自主財源としての賛助会費制度の実施など区域の公私福祉団体を結集し着々と福祉のまちづくりに取り組み、社会的評価も高めつつあります。

さて中京区はご存知のとおり、都心部小学校の統廃合により堀川以東地域では九校から二校へと激減し、また、人口に占める六十五歳以上の割合は二十%を超え、まさしく少子高齢社会のまちなであります。来年四月からいよいよ介護保険制度が開始されますが、日常生活で常に介護を必要とし、在宅での介護が困難である高齢者がサービスを受けることのできる特別養護老人ホームは中京区内には一カ所しかありません。現在でも特別養護老人ホームの入所は約二年待ちという状況であり、やっと入所できても、慣れ親しんだまちから遠く離れなければならないというケースが往々にしてあります。これでは介護保険がスタートしても、「保険あつてサービスなし」という区民感情は、ぬぐうことができないでしょう。

わたしたち中京区社協はこのような状況を踏まえ、中京区内にある都心部の小学校跡地に特別養護老人ホームとそれに付随して在宅介護を支える在宅サービス提供施設の建設を京都市行政に強く働きかけていく所存であります。この福祉施設は、地域のみならずが福祉問題を学び、地域での福祉活動を広げていくための拠点ともなるものであり、福祉のまちづくりをすすめていく上での影響は絶大なものとなるであります。

今後とも中京区社協は、私たちのまち中京区が住みよいまちななるよう、積極的に活動を展開していく所存でありますのでご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

活動に参加したい。ボランティアをしたい。という場合は…?

中京区社会福祉協議会

TEL.075-822-1011
FAX.075-822-1829

へお気軽にご連絡下さい。

平成9年度より実施している中京区青少年の福祉体験事業に、今年も多くの学生さんにご参加いただき、区内の保育園・児童館・共同作業所・高齢者ミニデイサービスセンターで短い夏の経験と思いづくりに汗を流しました。

【作業所？】

共同作業所への参加は、今年は1名のみとなりました。毎年共同作業所への参加希望者が少ないのが現状です。

高齢者や児童福祉施設は、なんとなく聞いたことがあったり、これまで見学したことがあるなど、比較的知られているところもあり、抵抗なく申込みやすいのでしょうか。一方、共同作業所は心身に障害があるために、働きたくても働けない、養護学校を卒業しても近くに働くところがない、こうした方々の願いを実現するための福祉施設ですが、一般の方は、共同作業所という福祉施設の名前すら聞いたこともないし、何をしているところかわからないという認知度の低さから参加希望者が少ないのだと思われます。

作業所の仲間
は、はじめて作
業所に訪ねてく
る方にも愛想良
く明るく迎えて
くださいます。
実際に三日間体
験された参加者
に聞くと、「楽し
かった」という
感想が必ず返

ってきます。

今年の学生さんも
申込み時は、「何歳ぐ
らいの人がおられる
のですか」と戸惑い
ながらの参加となり
ました。

二日目。共同作業
所の仲間と一緒にドライブです。楽しいはずのドライ
ブかと思いきや、実は今日は、契約の会社の清掃作業
の日です。この日は大変暑い日で、ガラスクリーナー
とタオルを持って仲間と一緒に汗だくの重労働。夕食
は、さぞおいしかったことでしょう。

最終日。今日こそ本当のドライブです。今日は神戸
のしあわせの村への遠足の日です。仲間も職員さんも
学生さんも、自然と青空のもと身も心も童心に帰って
思い思いに楽しみました。帰宅後、学生さんより「楽し
かったのひとことです。」との感想をいただきました。

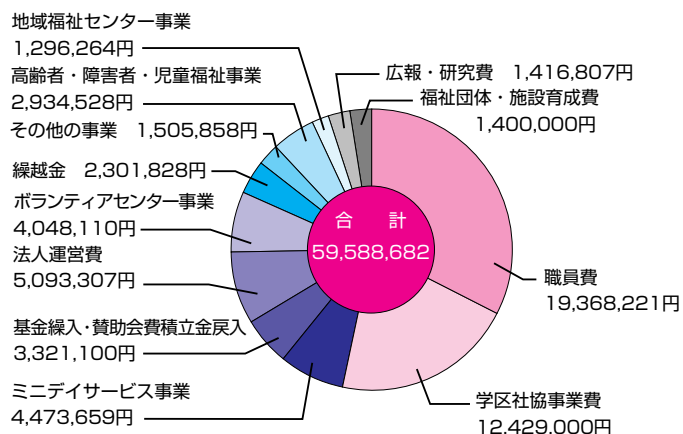
その後他の施設も見てみたいとのことで、高齢者ミ
ニデイサービスセンターでの体験にも参加され、今後
いろいろな福祉施設を見学したり、体験したりして、
自分にあったボランティアの活動を継続していきたい
とのことでした。

この経験を生かして、自分にあったボランティア活
動を見つけていただきたいと思います。

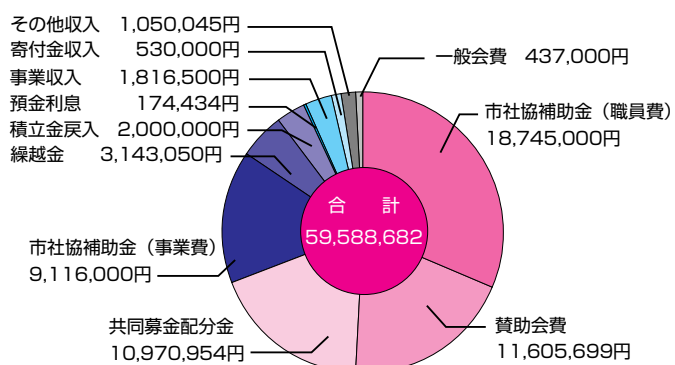


平成10年度 中京区社会福祉協議会一般会計決算のご報告

支 出



収 入



今年も暑い夏に熱い汗をかきました。

【 特 技 】

ある保育園で学校の夏休みの宿題のために、何気なく参加した学生が3名いました。3名とも、これまで園児と接する機会がないということです。

一日目。来園し、いざ活動となっても、どう子供と接したらいいのかという不安感と、まわりの園児すべてに目をかけなければならないという義務感からか、そうとう気を使っているようで、ひとつも楽しんでるようには見えませんでした。

見かねた園長や保育士さんが、せっかく三日間の短い体験なので、楽しんで夏の思い出をつくってもらいたいという思いから、いろいろ頭を悩ませていただきました。

結果、たまたま3名は、高校の被服科に通っているため、何とかこと特技を生かせないものかということで、手芸で「ぬいぐるみ」を作ってもらいそれを園児の前で披露する場

を作ってはどうかとのプログラムを立てていただきました。

園児と離れ、開放された？3名は、別室で自分の特技である、針と糸を使って「ぬいぐるみ」づくりに取り組みます。しかし、水を得た魚のようにとはいかず、披露することのプレッシャーからなのか、無口で黙々と作業に取り組んでいます…。



最終日。3名は「ぬいぐるみ」を完成させた達成感とともに園児からの“すごい”というあついまなざしを受けたことと、そして、とにかくにも夏休みの宿題が一つ終わったということは間違いありません。

この保育園での体験が、その時の本人達にとってどうであったかは別にして、将来につながる貴重な経験となるのではないのでしょうか。彼女達の今後に期待します。

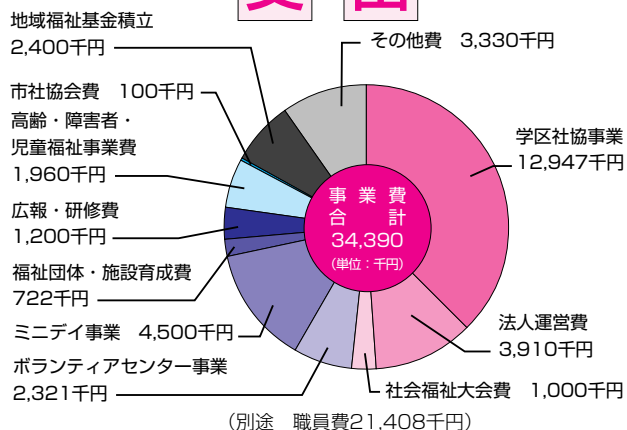


平成11年度 中京区社会福祉協議会一般会計予算

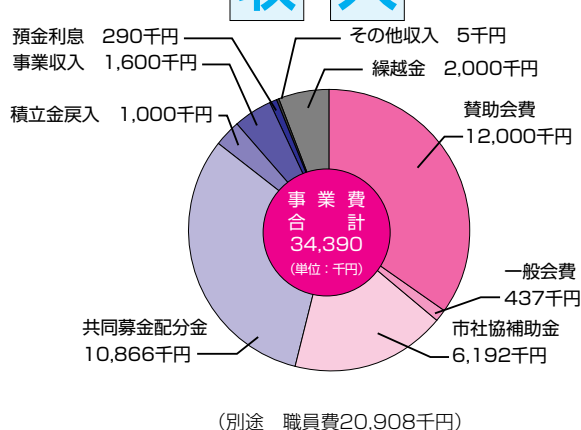
平成11年1月より区民の皆さまにお願いをいたしました中京区社会福祉協議会の平成11年度賛助会費は、皆さま方の深いご理解とご協力をいただき、総計11,715,300円となりました。誠にありがとうございました。

介護保険など新たな福祉施策の導入の中で、ますます地域福祉への期待が高まってまいります。今後も引き続き賛助会員への加入にご協力賜りますようお願い申し上げます。

支 出



収 入



これからも区民のみなさんに 信頼される社会福祉協議会をめざします

中京区社会福祉協議会では、今年度つぎのような活動を予定しています。

社会福祉法人京都市中京区社会福祉協議会 法人設立5周年記念祝賀会

日 時：平成11年11月19日(金)
午後2時～7時30分

会 場：全日空ホテル 二階 平安の間
中京区堀川通り二条城前 ☎231-1155

内 容：1 部／式典 午後2時～3時5分

2 部／記念講演ならびに手話劇 午後三時十五分～五時

記念講演「生涯教育における福祉教育について」

- 講演者／神戸女子短期大学教授 蜂須賀 弘久氏（元京都教育大学学長）
- 手話劇／京都市聴覚障害者協会中京支部・京都市手話学習会「みみずく」中京支部のみなさん

3 部／交流会 午後5時30分～7時30分



中京区介護ボランティア養成講座 (3級ヘルパー資格取得講座)

中京区内での地域や福祉施設でのボランティア活動を推進するとともに、在宅での介護や介助に役立つ技能や資質を向上させ、資格取得の機会とすることを目的に開催いたします。

主 催：中京区社会福祉協議会・京都市社会福祉協議会

受講対象者：中京区民で次の要件を満たしている人として

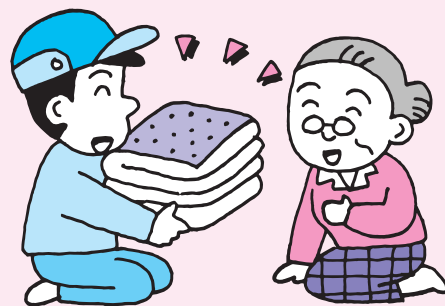
- ①中京区・学区の福祉活動に参加している人、参加意志のある人
- ②中京区の福祉施設の活動に参加している人、参加意志のある人
- ③その他、介護者または、ヘルパー資格を取得したい人

定 員：50名程度といたします。

受講費用：6000円（資料ならびに実習費）とします。

受講内容：厚生省の定めたカリキュラムに従って、介護にかかわる基本的な知識や具体的な介護技術など約10日間で50時間受講いただく内容となっています。

開講期間：平成12年1月～2月ごろ



講座の詳細は11月ごろに決定いたしますが、受講希望の方はそれまでに中京区社会福祉協議会までご連絡くだされば、決定後詳細の資料をお送りいたします。